

年賀郵便に関する世論調査

總理府國立世論調査所
昭和二十六年二月

一 調査目的

郵政省の依頼により、郵政事業中特に年賀ハガキに関する在の調査項目について国民の不満を調査し、今後の郵政施策の参考に資せんとするものである。

二 調査項目

1. 年賀状に対する国民の一般的態度について
2. 年賀状の受取数、差出数の増加した原因について
3. 年賀状の差出日にについて
4. 年賀ハガキの買過ぎについて

5. 年賀ハガキの取扱いに関する一般的サービスについて
6. 年賀ハガキによる共同募金の可否について
7. 自動スタンプの広告について

三 調査方法

調査期日 = 六年一月二十二日より三十一日まで

地 域

東京都区内

対象者 縦二〇才以上六〇才未満の男女六万四千名

調査方法 無作為抽査法、面接調査

回 収

五三一票 (回収率 八八・五%)

四 調査結果の概要

1 年賀状の賛否

年賀状のやりとりについては賛成といったものが圧倒的に多く、九一%で、不賛成といったものは僅かに三%である。

乙 年賀状のやりとりの盛んになつた原因

昨年の発売枚数、一億八千万枚に對し、本年は四億枚即ち昨年の二倍
跳き壳りつくした。これにはもともと國民にそれだけの消化能力があ
つたのか、それとも多大實理が切っていゝのか、郵政省の宣伝がさい
たのか、この両の事情を明らかにすれば

(1) このように年賀状のやりとりが盛んになった原因として大都會の
もの(五〇%)は生活にゆとりが出てきたからで(五〇%)の生活が
安定し、転居するようがこともなくなり、住所はつまり一々さじ
かぬという莫をあげてゐる。昔からの慣習だからと毎年に一回の
ことだからとか礼儀と云ふといふのは一へ%ある。

郵政省關係の努力と思われるものは一へ%に及ぶ、その内郵政省
の宣伝によるといつたものは三%，くじの普及になつたと答え
てゐるものが八%ある。

(2) その他に五年玉つき年賀ハガキを貰つた場合、五年玉つき年賀
ハガキで返事をしておかないと借金でしていふうで何だか氣
がかりると云つた人が四四%に及ぶことは、五年玉つき年賀
ハガキがよく売れた一つの原因ではなかろうか。

(3) 買ひ過ぎたりのにつけてみれば、

義理で買わされたとか割当てられて嫌々買つたもの
普通ハガキを買ひに行つても年玉つき年賀ハガキを買わされたもの
買ひ過ぎて出すつもりない所へり年賀状を出したりの
五年玉つき年賀ハガキを普通ハガキの代用につかつたもの
現在手許に何枚か残つてへるの

以上のどれかに引際へつたもの即ち何らかの意味で買ひすぎてしまつ
たものが五五%もあるといふ結果になつてゐる。

(4) 年賀ハガキは一世帶当たり平均六〇通買つてあり、差本数は平均

五一通現在手許に残つてはいるのは平均九通に亘つてゐる。

④ 受取数についえみれば、昨年より多かつたといふのが七六%に及んでいた。一世帯平均では四八通受けとつてをり、昨年より平均一九通多く受け取つたことになる。昨年に較べると特に親類の近親、知人からのものと、現在の職業關係の人からのものが目立つてゐる。見ゆうは人々のものをしては、商業上の宣伝廣告が一世帯平均の通選舉關係と思われたものが平均二通であつた。

3. 差出日について

年賀状の差出日については、昨年一月、總理府國立世論調査所で行つた「郵政事業に関する世論調査」の中では

「二月二八日迄に出すつもりと答えたものが 五二%
締切日以後に出すつもりのものが 二四%

であつたが、今度の調査でみると

〔實際に二八日迄に出したものは
締切日以後に出したものは

五ー%

となつてあり、~~計画~~と實際には相当のひらきがあつたことを示してゐる。事実今春は締切後にも相当量の投函があつたため、郵政省ではその取扱い業務上豫期せぬ多忙を引起したのであつた。

この調査によれば新年になつてから出した年賀状は平均一世帯当り一〇通に及んでゐる。ところが年賀状の特別取扱いの締切日が何日であるかはつきり知つていなむのは僅か二九%に過ぎなかつた。

4. 年賀ハガキによる共同暮金の可否について

年賀ハガキの一円の附加金が何のためにつけられていかのか知つてゐるのは半数の五一%であり、残りの四九%は全く知つてゐないところにすぎない。その中で五五%をつけておもと誤解しているのが全体の二マ物を占めてゐる。

然し附加金が何の為につけられていらるのか知らねいとのに対し
は一応実は共同募金と赤十字募金の為ですがと念を押して）募金を
つけることの贅否を問うたところ、贅沢といふものが圧倒的に多か
つた。

5. 自動スタンプの広告について

年賀ハガキの消印に一般営業上の広告を押すことは、ああでたい氣
分をもこなうものだとして、親衛の投書欄に反対の声があがつたが
實際にはそもそもスタンプに広告をつけたことに気がいってないも
のがその大半を占めるよう現状であった。

新車に年賃狀をやりせり下車に賃成三千か不賃成ですか

賃成 九一%

不賃成

三

ニ 増年賃狀やりと申か非常に盛人になつてヨリヨリ下車かどうか

思ひますか

郵便者同僚宣傳

三

社会生活安定

八八

%

慣習化

一一

%

不

明

盛人に下車

五四一

%

中間的態度

下

州

二三四

%

年賃狀やりと申は今後ますます盛人に下車せしむれ

一

%

ベラリと申は今後ますます盛人に下車せしむれ

一

%

老人の感心下車

四四

%

不

明

同一位置

一六

%

少子家庭

一七

%

昨年比て特にどんなん違ひありにて贈えましたか

四七

%

親類近親友人家人

二八

%

平素より文際一方親戚友人

三五

%

職業同僚家人

一九

%

特に贈えましたか

一四

%

不

明

シ 増年賃狀やりと申か非常に盛人に下車せしむれ

一〇

%

は一〇を越す

一

%

註 シ 変問け人で二つ以上答えたものから % は一〇を越す

一

%

國立公文書館

National Archives of Japan

202

一二月六日立
一二月末日立
新年に立
返事立
二三四五
三四四四
%
%
%

卷之三

卷之三

無理是命如書稿

義理で買ひ入らうとおもふが、嫌々買つたから、事はちうどく

卷之三

周易外傳

卷之三

十一

道に五年玉附年賀ハサヘミ賣文なくて困ニシムラニテはあらまえど

五
三

卷之三

二三三四五六七八九
日日日日日日日
日以降

此承志の様に並道へが入は二月二十一年賀ハガキ行三月二月より先づ
三十日行の事に一円高く賣り出されに御存知ですか
其國夏刀入事並手裏金 五一%

「おなじもの、くじゑ」

郵便局貯金

下明

二二五
一四九

家は其用暮金と本下字暮金、支手一千（年賃）を以て稼ぐも、に暮金三一丁、
車に賃成六千か、不賃成三千か

賃成 六九名

主事主まつり 二二八

及付

主事主まつり 二二八

主事主まつり 二二八

主事主まつり 二二八

主事主まつり 二二八

主事主まつり 二二八

主事主まつり 二二八

家旅中一番多く年賃取とまつた人に今頃

性別 男 女

縫柄 妻帶主

縫柄

父子母女兄弟姉妹

片合

三十一年九月上	二十一年九月上								
三十一年九月上	二十一年九月上								
三十一年九月上	二十一年九月上								
三十一年九月上	二十一年九月上								
三十一年九月上	二十一年九月上								

スタンプの消印一枚、店舗名未だ判明に止り、支手一千が、
どうぞ感心を胸に運び、されど、主事に運びます。

主事主まつり 二二八

主事主まつり 二二八